

「大府市子どもの近視予防プロジェクト」

産学官連携による出前講座と学術研究協力を実施します！

大府市は、年々増加している子どもの近視を予防し、進行を抑制するため、小学1年生に向けた出前講座の開催と取組シートの配布、および小学5～6年生に向けた学術研究への協力を実施します。

この取り組みは、令和4年度から、名古屋大学、(株)スギ薬局、ロート製薬(株)および大府市の産学官連携で進めている「大府市子どもの近視予防プロジェクト」の一環として実施するものです。

■小学1年生に向けた出前講座の概要

近年、屋外活動時間の確保が、近視の予防や進行抑制につながるようになってきています。大府市は、外遊びの大切さを伝え、スマホ、ゲームや読み書きなどの近業作業時に気を付けることを実践的に学ぶ機会を提供するため、市内小学校全9校において、小学1年生に向けた出前講座を実施します。また、夏休み期間中に活用できる取組シートを配布し、受講後の近視予防の取り組みを支援します。

日時／令和5年6月中旬～7月中旬

※時間は学校により異なります（所要時間15分程度）

場所／市内小学校（全9校）

対象／小学1年生

講座名／目がよろこぶことってどんなこと？

～勉強に運動に、がんばるみんなの“みえる”をまもろう！～

講師／ロート製薬(株)学術リーダー、大府市健康都市スポーツ推進課職員（ほか）

内容／目のしくみやはたらきをクイズ形式で楽しく学んだあと、屋外活動時間の確保、近業作業時の姿勢保持やこまめな休憩など、目がよろこぶ生活習慣を紹介するとともに、夏休みに活用できる取組シートを配布します。

■小学5～6年生を対象とした学術研究の概要

子どもの近視の多くは、「眼の形が前後方向に伸びて、ピントの合う位置が網膜より手前にある状態」です。2050年には世界の全人口のおよそ半分に当たる約48億人まで近視の人が増えると予測されています。近視が進行しやすい子どもの頃の近視の程度や眼の状態の観察研究を行うことで、近視がどのような病気かを理解し、早期発見や予防・治療につながる可能性があります。大府市は、名古屋大学およびロート製薬(株)が実施する観察研究に協力することで、近視に関する新たな知見の発見に寄与するとともに、市内小学生に

普段は測定できない専門的な眼科測定を受け、自分の目について知る機会を創出し、目の大切さを啓発します。

日時／令和5年7月1日（土）・2日（日） 午前10時～午後5時（予定）

場所／大府市役所2階 201～204会議室（大府市中央町5-70）

対象／小学5～6年生（除外基準あり）

内容／身長、体重、屈折度、角膜曲率半径、眼軸長、後眼部OCT像、前眼部OCT像、

裸眼視力、最高矯正視力、皮膚カロテノイド量、生活環境調査

定員／160人（応募者多数の場合は学年や性別等を考慮し参加者を選定）

その他／参加者には謝礼あり（1000円分のQUOカード）

申込／専用フォームから応募

※対象者には6月2日（金）に学校情報配信システムで周知予定

〆切／令和5年6月15日（木）

【問い合わせ先】

大府市健康都市スポーツ推進課

担当：久保田 美穂子（くぼた みほこ）

電話：0562-45-6233 FAX：0562-47-7320 メール：kenspo@city.obu.lg.jp